

参考様式第1及び参考様式第2の別添3

漁業集落復興効果促進事業の概要を示す書類

事業番号	◆ C 5 - 2 - 14	事業名	(24) 番屋群等再生事業
事業概要	(島越地区水産施設整備事業)		
<p>東日本大震災により壊滅的な被害を受けた本村の主要な産業である水産業の迅速な復興を図るため、全壊流失した定置網番屋を再整備するものである。共同で利用させることによって漁業者の利便性の向上と水産業の振興を目指し、施設整備に係る支援事業を実施する。</p> <p>建築予定地については、漁港に隣接した村有地に整備することとし、土地利用計画における水産用地として一体的に有効活用を図りたい。</p> <p>なお、当該事業は、田野畑村災害復興計画・復興基本計画の中で、P6の2復興に向けての基本方針にある(3)地域振興、P27に記載のある(5)漁業施設の復旧に基づき行うものである。</p>			
<p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 島越地区水産施設整備事業 <ul style="list-style-type: none"> [H27年度] 島越定置網休憩施設設計業務一式 [H28年度] 島越定置網休憩施設監理業務・建築工事一式 ■ 事業年度 H27年度～H28年度 ■ 事業費 56,540千円 (H27:4,950千円、H28:51,590千円) [H28内訳: 監理業務1,620千円、建築工事49,970千円] ■ 施設面積 <ul style="list-style-type: none"> 被災前施設面積 : 639㎡ 今次申請施設面積 : 146.57㎡ 			
			

※ この様式は、原則として、参考様式第1の別添2に記載した細要素事業名ごとに作成し、概要を示す図面を添付してください。

参考様式第1及び参考様式第2の別添3

漁業集落復興効果促進事業の概要を示す書類

事業番号	◆ C 5 - 1 - 23	事業名	(43)津波情報収集・配信システム整備事業
事業概要	(津波避難カメラシステム整備事業)		
<p>本村は、東日本大震災により多くの人命を失い、漁業施設や住家等は壊滅的な被害を受けた。この教訓をふまえ、二度と津波で人命を失うことのないよう早期警戒体制とあわせて避難誘導體制を強化する必要がある。</p> <p>村が津波発生時に沿岸部にいる住民への避難勧告、避難指示の発出や避難状況の確認を行い、的確な対処を行うためには、常に津波の発生及び接近を把握できる体制が重要である。津波発生後は沿岸住民の避難状況、沖へ避難した漁船の状況、沿岸域の被災状況を把握することが必要になる。</p> <p>本事業では、羅賀地区及び島越地区に避難カメラを設置し、津波発生時に沿岸部にいる住民の避難状況の確認を行い、必要に応じて無線を通じた避難誘導や救助隊員の派遣に役立てることを目的としている。また、羅賀地区には潮位計を整備し潮位変化に基づいて津波の発生と接近を観測できるものとする。通信システムは、津波被害を受けない無線による伝送とし、中継地点を設け沿岸域と役場間をつなぐ。そして田野畑村役場と中央防災センターで遠隔操作とモニター監視ができるものとする。</p> <p>また、平時においてはカメラ映像をインターネット配信することにより、漁港や海象、漁船漁具が確認できるようすることで、漁業の可否判断や密漁監視への活用も可能となる。</p> <p>村では、これらのシステムを管理・運営するための持続可能な人的体制及び防災体制を構築するものである。</p> <p>なお、当該事業は、田野畑村災害復興計画・復興基本計画を継承する田野畑村総合計画・後期基本計画の第3災害復興計画の中で、P75の防災の地域づくり(4)防災対策の強化等に記載の取り組みに関連して行うものである。</p> <p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■津波避難カメラシステム整備業務委託 <ul style="list-style-type: none"> ・設計監理委託料 一式 ・工事費(カメラ2式、潮位計1基、操作盤・映像モニタ2箇所、通信設備 1式) ■事業年度 平成28年度 ■事業費 102,600千円(設計監理5,400千円、工事費97,200千円) <p>【基幹事業との関連性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■事業番号：C-5-1 ■事業名：漁業集落防災機能強化事業 <p>基幹事業で整備する避難路に合わせ津波避難カメラを設置することにより、災害発生時における当該地区の海面監視や、逃げ遅れた人がいないか、避難に支障がないかなどの避難誘導を的確に行うことが可能となる。</p>			

※ この様式は、原則として、参考様式第1の別添2に記載した細要素事業名ごとに作成し、概要を示す図面を添付してください。

参考様式第1及び参考様式第2の別添3

漁業集落復興効果促進事業の概要を示す書類

事業番号	◆ C 5 - 1 - 24	事業名	(42)水産関連情報整備事業
事業概要	(平井賀漁港電子台帳整備事業)		
<p>東日本大震災津波により、多くの漁港施設及び背後漁業集落施設等が被災し、施設の復旧・復興が進められている。施設を復旧・復興するには施設台帳を根拠資料とするが、施設台帳自体が津波により流出し、施設を把握するのに時間を要し、復旧・復興工事の遅延の要因の一つとなってしまった。</p> <p>また、今般の災害復旧工事や復興工事では多くの施設が新設・改良されたことにより、施設台帳についても膨大な更新作業が発生している。</p> <p>本事業は、今後の施設台帳の維持管理を確実なものとするため、電子システムである漁港台帳システムに、今次被災状況及び現在の施設状況を整理した上で登録する。施設台帳を電子化することにより、台帳のバックアップを容易にするとともに、各種図面や現場写真等も一括管理でき、漁港漁場の被災情報・復旧情報も整理して登録調整を行うものである。</p> <p>さらに、これらの情報を踏まえて、人口減少下における漁村での効果的な施設の維持管理手法を次年度以降に検討する。</p> <p>なお、当該事業は、田野畑村災害復興計画・復興基本計画を継承する田野畑村総合計画・後期基本計画の第3災害復興計画の中で、P75の防災の地域づくり（7）海岸施設の復旧・復興等に記載の取り組みに関連して行うものである。</p> <p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■平井賀漁港電子台帳整備業務委託 平井賀漁港電子台帳整備業務一式 〔対象漁港：第1種漁港 平井賀漁港（平井賀地区、羅賀地区）〕 ■事業年度 平成28年度 ■全体事業費 6,328千円（調査費） <p>【基幹事業との関連性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■事業番号：C-5-1 ■事業名：漁業集落防災機能強化事業 <p>東日本大震災により壊滅的な被害を受けた平井賀漁港において、施設台帳が流出したほか、漁港の復旧・復興作業に伴い膨大な施設台帳の更新作業が発生している。本事業により施設台帳を電子化したうえで再整備し、被災情報や復旧情報を整理することで、今後再度被災した際に施設台帳の容易なバックアップが可能になり災害時の台帳散逸や流出を防げると共に、施設管理の効率化が見込まれる。その結果、今後の災害発生時における円滑な復旧工事の実現が可能となることから、本事業は基幹事業で整備している漁業集落の漁業活動の早期復旧へ寄与するものである。</p>			

※ この様式は、原則として、参考様式第1の別添2に記載した細要素事業名ごとに作成し、概要を示す図面を添付してください。

参考様式第1及び参考様式第2の別添3
 漁業集落復興効果促進事業の概要を示す書類

事業番号	◆C -5-1-25	事業名	(30) 水産業・漁村復興支援調査事業																		
事業概要	<p>【事業概要】</p> <p>1 事業名 水産業・漁村復興支援調査事業（田野畑村水産振興マスタープラン策定調査）</p> <p>2 事業の目的 田野畑村では被災後の復興対策として、漁港施設の復旧・整備等が進んでいるものの、漁獲量は震災前の水準には達しておらず、現地の基幹産業たる水産業の振興をいかに図っていくかが課題となっている。 水産業の復興を効率的に・効果的に推進するためには、漁獲量の回復のみならず、地域水産物の流通システムの見直し、漁業者の高齢化の進行や担い手不足等といった問題点・課題を明確化し、解決策を体系的に取りまとめた「水産振興マスタープラン」の策定が必要である。 よって、本事業では、田野畑村の水産業の現状・課題を調査し、協議会を開催して、地域住民・漁業関係者と共有した上で村の基幹産業である水産業の活性化を図るための具体策を検討し、「田野畑村水産振興マスタープラン」として取りまとめることを目的とする。同プランの策定にあたっては、村の水産振興を図る上で重要度の高い取組を重点プロジェクトとして抽出し、具体的なアクションプランとして取りまとめることとする。その上で、田野畑村として本事業の成果物であるこれら具体策・重点プロジェクトを実施する。</p> <p>3 事業内容</p> <p>(1) 田野畑村の水産業現況調査（被災前後の状況の変化）</p> <p>(2) 田野畑村水産業が抱える問題点・課題の抽出</p> <p>(3) 田野畑村水産振興マスタープラン（めざすべき姿）の検討 ①田野畑村水産振興の基本方針と目標、②めざすべき姿の実現に向けた水産振興方策の検討</p> <p>(4) 全国先進地事例情報収集・整理</p> <p>(5) 重点プロジェクトの抽出とアクションプランの検討</p> <p>(6) 田野畑村水産振興マスタープランの策定</p> <p>【基幹事業との関連性】</p> <p>事業番号：C-5-1 事業名：平井賀漁港地区漁業集落防災機能強化事業 本事業で村の水産振興マスタープランを策定することにより、今後の水産振興の方針および取り組むべき課題と方策を明確にする。これによりマスタープランの方針に沿って基幹事業による土地利用高度化再編で整備された漁港関連施設や水産用地を有効に活用することが可能となり、漁集地区の水産業活性化に資する。</p> <p>【事業年度】 平成28～29年度</p> <p>【事業費】 7,150千円（28年度）</p> <p>平成28年度</p> <table border="0"> <tr> <td>(1) 田野畑村の水産業現況調査（被災前後の状況の変化）</td> <td>2,300千円</td> </tr> <tr> <td>(2) 田野畑村水産業が抱える問題点・課題の抽出</td> <td>2,250千円</td> </tr> <tr> <td>(3) 田野畑村水産振興マスタープラン（めざすべき姿）の検討</td> <td>2,600千円</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>7,150千円</td> </tr> </table> <p>平成29年度（28年度の結果を受けて再検討予定）</p> <table border="0"> <tr> <td>(3) 田野畑村水産振興マスタープラン（めざすべき姿）の検討 ②めざすべき姿の実現に向けた水産振興方策の検討</td> <td>2,100千円</td> </tr> <tr> <td>(4) 全国先進地事例情報収集・整理</td> <td>1,200千円</td> </tr> <tr> <td>(5) 重点プロジェクトの抽出とアクションプランの検討</td> <td>3,200千円</td> </tr> <tr> <td>(6) 田野畑村水産振興マスタープランの策定</td> <td>3,200千円</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>9,700千円</td> </tr> </table>			(1) 田野畑村の水産業現況調査（被災前後の状況の変化）	2,300千円	(2) 田野畑村水産業が抱える問題点・課題の抽出	2,250千円	(3) 田野畑村水産振興マスタープラン（めざすべき姿）の検討	2,600千円	合 計	7,150千円	(3) 田野畑村水産振興マスタープラン（めざすべき姿）の検討 ②めざすべき姿の実現に向けた水産振興方策の検討	2,100千円	(4) 全国先進地事例情報収集・整理	1,200千円	(5) 重点プロジェクトの抽出とアクションプランの検討	3,200千円	(6) 田野畑村水産振興マスタープランの策定	3,200千円	合 計	9,700千円
(1) 田野畑村の水産業現況調査（被災前後の状況の変化）	2,300千円																				
(2) 田野畑村水産業が抱える問題点・課題の抽出	2,250千円																				
(3) 田野畑村水産振興マスタープラン（めざすべき姿）の検討	2,600千円																				
合 計	7,150千円																				
(3) 田野畑村水産振興マスタープラン（めざすべき姿）の検討 ②めざすべき姿の実現に向けた水産振興方策の検討	2,100千円																				
(4) 全国先進地事例情報収集・整理	1,200千円																				
(5) 重点プロジェクトの抽出とアクションプランの検討	3,200千円																				
(6) 田野畑村水産振興マスタープランの策定	3,200千円																				
合 計	9,700千円																				

※ この様式は、原則として、参考様式第1の別添2に記載した細要素事業名ごとに作成し、概要を示す図面を添付してください。